

中津南高等学校同窓会報

はく よう



編集・発行 大分県立中津南高等学校同窓会 事務局/中津市高畑2093番地 TEL (0979)22-0224 FAX (0979)23-4678 http://www.minamikou.net/ 印刷/高橋印刷所



同窓会会長 和田 仁 人

ご挨拶

先の九州北部豪雨で、旧下毛郡が甚大な被害に遭われ、心からお見舞い申し上げますと共に、被災地の一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

中津の代表的な夏祭り、中津祇園、鶴市花傘鉾祭りが今年も盛大に開催され、中津も元気を取り戻した感じがしています。遠く故郷を離れている皆様には、この祭りが懐かしく映り「ふるさと中津」に思いを馳せていることとお察しいたします。 さて、母校中津南高は来年10月に創立120周年の記念式典事業が行われます。それに先立ち同窓会会則を改正して2年経過しました。が、会員皆様のご意見により、さらに一部改正を6月30日の総会で行い、同日より施行しています。

支部の融和、連携を層深めるようにしたこととも今回の改正点の一つです。ところで、同窓会運営の問題点とし財源の安定確保が第一にあげられると思います。生徒からの在学中3年間の会費(1,500円×3)徴収を止めたいと考えているところですが、それに代わる同窓生からの年会費(3千円)が見込み通り集まり難いのが現状です。来年の創立120周年の募金(目標額1,000万円)と重なり、なお一層先行き不透明な状況で大変危惧しています。

また、同窓会事業の主なものに、白楊奨学金制度があります。大学生への奨学金給与制度を設けて3年目になります。現在3名の卒業生(一橋大1名、大阪大2名)に月額3万円を給与しており、本人はもとより家族の方から感謝されています。返済不要のためこの事業を継続するにも、財源の確保は避けては通れません。 最後になりましたが、ここで、創立120周年の事業内容の一部をご紹介します。校舎・体育館の全面改築による体育館ステージの段帳の寄贈、学校所蔵の絵画展及

高29回生 東日本大震災復興支援プロジェクト 支援隊 平成23年8月25日~28日 石巻市、南三陸町へ



- 小型漁船2隻、船外機3機贈呈(宮城県南三陸町JFみやぎ歌津支所)
●消防ホース10本贈呈(石巻市北上総合支所)



「同窓のつどい」の準備が本格的に始まるようとしていた平成23年3月11日、未曾有の東日本大震災が発生しました。「同窓のつどい」の開催を疑問視する意見も出るなか、実行委員会では今年の「同窓のつどい」のテーマを震災復興支援としました。さまざま議論の末、皆様からの協賛により漁船様からの協賛により漁船塗りの手で陸送しました。支援先は小さな漁村の復興を支援されているリビルト・ジャパンプロジェクトに紹介して頂きました。消防ホースは中津市が中古消防ポンプ車を寄贈した石巻市に寄贈致しました。(高29実行委員会)

平成24年度 主要行事

総 会

とき 平成24年6月30日(土)
ところ グランプラザ中津ホテル

同窓のつどい

とき 平成24年10月6日(土)
ところ ヴァイラールチェ

幹 事

幹 事 高35回生
幹 事 高30回生

関西支部同窓会

とき 平成24年11月11日(日)
ところ 大阪市



校長 長田 文 生

躍進をめざして

異常気象を思わせた夏の豪雨や猛暑も去り、校庭の木々を揺らす風もさわやかな秋風となり過ぎしやすい季節を迎えました。今年4月の定期異動により竹田高校から着任しました校長の長田文生と申します。どうかよろしくお願いたします。同窓生の皆様には、平素より母校の教育振興に特段のご支援ご協力を賜り改めて感謝申し上げます。同窓生の社会的活躍は勿論のこと、皆様方の母校に寄せられる篤い思いは、在校生にとって大きな励みとなっております。

本校は今年で119年目を迎え、これまでに多くの有為な人材を輩出するなど、「東北の雄」として輝かしい実績を残して参りました。在校生は建学の精神である「礼儀、自立、進取、向上」を継承しつつ、勉強はもとより部活動にも青春の汗を流し、人生における基礎となる人格形成に励んでいます。このような名門校に赴任できたことを光榮に思うと共に、同窓生が今以上に母校を誇りと思えるような学校づくりを推進する覚悟でございます。現在、各学年とも5クラスで生徒数は約600名の規模を維持し、普通科進学校として地域の期待に応えるべく誠心誠意努力しています。特に多様化する生徒の進路志望を達成するため、きめ細かな学習指導を実践し基礎基本の定着から応用力の伸張まで、幅広い学力の向上を目指しています。さらに県教育委員会の事業である進



「同窓のつどい」の準備が本格的に始まるようとしていた平成23年3月11日、未曾有の東日本大震災が発生しました。「同窓のつどい」の開催を疑問視する意見も出るなか、実行委員会では今年の「同窓のつどい」のテーマを震災復興支援としました。さまざま議論の末、皆様からの協賛により漁船塗りの手で陸送しました。支援先は小さな漁村の復興を支援されているリビルト・ジャパンプロジェクトに紹介して頂きました。消防ホースは中津市が中古消防ポンプ車を寄贈した石巻市に寄贈致しました。(高29実行委員会)

本校は今年で119年目を迎え、これまでに多くの有為な人材を輩出するなど、「東北の雄」として輝かしい実績を残して参りました。在校生は建学の精神である「礼儀、自立、進取、向上」を継承しつつ、勉強はもとより部活動にも青春の汗を流し、人生における基礎となる人格形成に励んでいます。このような名門校に赴任できたことを光榮に思うと共に、同窓生が今以上に母校を誇りと思えるような学校づくりを推進する覚悟でございます。現在、各学年とも5クラスで生徒数は約600名の規模を維持し、普通科進学校として地域の期待に応えるべく誠心誠意努力しています。特に多様化する生徒の進路志望を達成するため、きめ細かな学習指導を実践し基礎基本の定着から応用力の伸張まで、幅広い学力の向上を目指しています。さらに県教育委員会の事業である進

学力向上推進事業の指定を今年も受け、様々な学力向上の取り組みが実施され大きな成果を挙げているところです。 さて、数年前から続けられてきた校舎の改築工事は昨年12月をもって終了し、木目を生かした温もりのある素晴らしい教室棟が完成しました。今年度はいよいよ最終段階の体育館の工事に着手

し、来年2月中旬を完成予定としております。同窓生の皆様には思い出の学舎が、次々と姿を消すことに一抹の寂しさを覚えるでしょうが、耐震基準に合致した最新の施設として生まれ変わり、在校生を見守り続けてくれることと致し。 ところで、ご案内のように来年度は創立120年の節目の年を迎えます。すでに昨年から実行委員会を設立し、記念式典や各種事業の検討が行われています。学校としても伝統校にふさわしい周年行事の実現に向け、準備を進めて参りたいと思っております。皆様にはご協力をいただくこともあろうかと存じます。皆様からのご協力をお願い申し上げます。 最後になりましたが、本校同窓会の益々の発展と会員各位のご健勝を心から祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



### 会則改正のお知らせ

#### 同窓会会則

第1条 (名称)  
本会を大分県立中津南高等学校同窓会と称し、事務局を大分県立中津南高等学校に置く。

第2条 (目的)  
本会は会員の親睦を図り母校の発展拡充に協力し、以て地方文化の向上に貢献することを目的とする。

第3条 (会員)  
本会の会員は大分県立中津中学校(分校時代を含む)、大分県立中津第一高等学校、大分県立中津西高等学校、大分県立中津南高等学校の卒業生及び準卒業生で組織される。

第4条 (客員)  
本会に功労があり、会長の推薦を受けた者及び職員、旧職員を客員とする。

第5条 (役員)  
本会の役員は次のとおりとする。  
 会長 1名  
 副会長 10名以内(うち2名は現職校長及びPTAが推薦するPTA会員とする)  
 事務局長 1名  
 監事 2名  
 ①会長、副会長及び事務局長並びに監事は総会において選出しこれを決定する。  
 ②役員任期は2か年とし再選を妨げない。但し会長の任期は最長3期6年とする。  
 ③欠員を生じた場合は直ちに補充する。補充された者の任期は前任者の残任期間とする。  
 名誉会長及び顧問を置くことができる。  
 名誉会長及び顧問は総会において推薦し会長はこれを委嘱する。

第6条 (理事)  
本会に理事を置く。  
 ①理事は各回卒業生中および各支部より若干名を選出する。  
 ②本校在職の同窓生職員は理事とする。  
 ③欠員を生じた場合は直ちに補充する。補充された者の任期は前任者の残任期間とする。

第7条 (役員等の任務)  
会長は会を代表し会務を総理する。  
副会長は会長を補佐し会長差し支えの時はこれに代わる。  
事務局長は会の庶務、会計を掌理する。  
監事は庶務及び会計を監査する。  
理事は本部と会員との連絡にあたり会務を補佐する。また、当該回生の代議員を兼ね総会の構成員を務める。

第8条 (支部)  
本会の支部を次の地区に置く。  
関東地区 中京地区 関西地区 北九州地区 別大地区 福岡地区  
支部長は支部において選出する。  
その他の地区は必要に応じ設けることができる。

第9条 (会議)  
①総会は年1回(6月)に開催し、全理事をもって構成する。但し必要がある場合は臨時総会を開催することができ、重要かつ緊急を要する事項が発生した場合は、役員会をもって総会に代えることができる。  
②役員会は必要に応じて開催する。  
③会議は会長が招集し、議事は出席者の過半数で決する。

第10条 (事業)  
第2条の目的を達成するため、以下の諸事業を実施する。  
(1)体育学術文化育成事業 (2)白楊奨学会  
事業は別に定める運営規則により執行し、役員会並びに総会にその活動を報告する。

第11条 (事務局)  
事務局には庶務、会計各1名及び必要に応じてその他の事務局員を置くことができる。  
事務局員は会長が委嘱する。  
事務局員はそれぞれ事務局長の指示に基づき、庶務、会計を処理する。

第12条 (会計)  
①本会の経費は年会費(同窓生3,000円、在校生1,500円)、寄付金及びその他の収入を以てこれに充てる。  
②本会の予算は役員会を経て総会の承認を得る。決算は監査を経てこれを総会に報告するものとする。  
③本会の会計年度は4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わる。

第13条 (慶弔)  
本会の客員及び会員の死亡の場合は、当該理事の申し出により弔電を打つこととする。  
本会の発展に特に貢献した客員及び会員に対しては、役員会の議を経て特別な慶弔をすることができる。

第14条 (会則の変更)  
本会の会則の変更は総会において行う。

付 則  
平成10年6月20日 改正  
平成12年7月1日 改正  
平成22年10月9日 改正  
平成24年6月30日 改正

#### 《役員改選》 (平成24年6月30日総会)

役職名	氏名	回生
名誉会長	長野耕作	高1
顧問	西義一郎	高4
会長	和田仁人	高14
副会長	影木正子	高12
副会長	角晴義	高17
副会長	矢坂澄子	高19
副会長	野依辰幸	高22
副会長	清源善二郎	高24
副会長	高野諭輝	高26
副会長	中道祐子	高28
監事	熊埜御堂 宏實	高17
監事	池永孝生	高18
副会長(PTA会長)	広津義己	高32
○副会長(校長)	長田文生	
事務局長	八崎増美	高17

○印は新任

【事務局】

庶務担当(教諭)	長野勝司	高35
会計・庶務担当	田所雅子	

**平成24年度年会費納入のおねがい**

年会費 3,000円

納入方法 同封の払込取扱票で郵便局から

納入期限 平成24年12月末日を一応の目途

(払込料は同窓会負担)

#### 収入

科目	24年度予算額	前年度予算額	増減額	説明
繰越金	2,260,107	2,467,419	△207,312	平成23年度繰越金
会費1	892,500	889,500	3,000	在校生(1,500円×595名)
会費2	600,000	600,000	0	同窓生年会費(3,000円×200名)
繰入金	0	0	0	
雑収入	1,320,393	1,320,081	312	「同窓のつどい」会費、利息等
合計	5,073,000	5,277,000	△204,000	

#### 支出

科目	24年度予算額	前年度予算額	増減額	説明
報酬	5,000	5,000	0	進路講演会
賃金	730,000	730,000	0	事務局職員(非常勤)2名
会議費	400,000	400,000	0	総会経費、「同窓のつどい」補助金
報償費	140,000	140,000	0	新入生ワイヤーロック代、卒業記念品代
交際費	80,000	80,000	0	支部総会祝儀、慶弔費
通信運搬費	62,000	62,000	0	郵便料、電報代、運搬費
需用費	80,000	80,000	0	用紙、印刷消耗品代、支部用スケールガイド代
財産維持管理費	140,000	140,000	0	用地固定資産税
旅費	190,000	190,000	0	支部総会出席旅費
委託料	50,000	50,000	0	ホームページ更新、管理委託料
精神文化事業費	777,000	1,244,000	△467,000	開扇祭補助、九州・全国大会補助
白楊奨学金	1,089,000	726,000	363,000	大学奨学金3名分(30,000円×12月×3名)、振込料
雑費	1,130,000	1,130,000	0	「同窓のつどい」経費等
予備費	200,000	300,000	△100,000	
合計	5,073,000	5,277,000	△204,000	

#### 平成24年度同窓会予算

#### 国公立大

筑波大 1	福岡教育大 3	琉球大 2
大阪大 3	佐賀大 6	京都府立医大 1
神戸大 3	長崎大 2	神戸市外大 1
岡山大 3	熊本大 16	岡山県立大 1
広島大 11	大分大 13	北九州市立大 8
山口大 5	宮崎大 4	その他 17
九州大 8	鹿児島大 2	合計 110

#### 私立大

青山学院大 4	立教大 3	西南学院大 11
慶應大 2	早稲田大 2	福岡大 47
上智大 2	同志社大 6	APU 5
中央大 3	立命館大 20	その他 146
法政大 2	関西大 1	
明治大 5	関西学院大 3	合計 262

**平成24年度入試合格者総数**

**国公立大 110名**

**私立大 262名**

「桑弧蓬矢の志」について、昭和12年、中学2年生の時、国語の先生に由来と意味を質問したが、教示を得なかった。中学4年生の頃、弓道部へ入部。以来気にはなっていたが、10年程前、中国の四書五経の「二つ」禮記」のなかで発見し、やっと解明できた。



旧制中津中学校校歌

一、略

二、略

三、希望の光かがやきて 自信の力いやつよし

桑弧蓬矢の志

夢寐の間も忘れず 精神一度奮いなば 千艱万苦も何のその

四、略

中国、四書五経の一つ 「禮記」より

故に男子生むるときは、桑の弧蓬の矢六つ、以て天地四方を射る。天地四方は、男子の事ある所なり。故に必ず先づ其の事ある所に志すことありて、然る後敢て穀を用ふ、飯食するの謂なり。



「桑弧蓬矢の志」の由来について

中44回生 奥村 義之